

## 初級日本語コースにおける異文化間理解教育

サドラー美澄

イリノイ大学

sadlerm@illinois.edu

キム・ジャンサン

イリノイ大学

jungkim5@illinois.edu

## 要旨

本報告では、異文化間理解教育の一環としてイリノイ大学初級日本語コースで導入された「カルチャー・フォーラム」(Culture-Learning Discussion Forum)の有効性・実践可能性について提案する。カルチャー・フォーラムは、学習者自らが興味・関心のある情報を収集し、それに対する意見を共有・交換する相互学習の場である。またフォーラムでは日本文化と自己の文化の比較を通して、言語使用と文化の密接性、異文化間理解力を深めることが出来る。学期末の学習者からのフォーラムへの評価・感想・要望によると、学習者も教師側も全体的にフォーラム体験を肯定的に捉えていることが分かった。それと同時に、教師のフォーラムに対する態度が学習者の積極的参加に多大な影響を及ぼすことも分かり、いかにまとめ役としての教師の役割が重要かということが今後の課題としてあがった。

**キーワード**：異文化間理解力、カルチャー・フォーラム、文化、教師の役割、学習者中心

## 1. はじめに

外国語学習における異文化間理解力の重要性は、現場の教師だけでなく外国語教育研究者の間でも提唱されていることである。例えば、Omaggio (2001)は言語と文化の密接性、外国語学習そのものが異文化間理解に大きく影響すると主張している。その他にも、外国語と文化学習の融合がグローバル社会の理解へとつながる (Galloway 1985; Lafayette & Strasheim 1981; Strasheim 1981 など)、異文化に対する違和感というのは、新しい外国語を学習し始めた時に起こりがちなものなので、異

文化間理解教育は、初級からすべきだといういうような意見などもある (Allen 1985; Durocher 2007 など)。

更に異文化間理解の重要性は、米国外国語教育協会 (ACTFL)による『21世紀の外国語学習スタンダード「日本語学習スタンダード」』(1999)でも次のように提唱されている。

目標2 文化 日本文化を理解し、知識を習得する スタンダード2.1 日本人の習慣・慣習 (practice)を学び、その背景 (perspectives)について理解する。 スタンダード2.2 日本文化における文化的所産・産物(products)とその背景(perspectives)について理解する。
目標4 比較 日本語と母語の比較により言語と文化の洞察力を養う スタンダード4.1 日本語と母語を比較し、言語に関する理解を深める。 スタンダード4.2 日本文化と自己の文化を比較し、文化の概念を把握する。

しかし外国語学習における異文化間理解教育の導入は、決して容易なことではない。ここでいくつかの問題点、導入の難しさの要因について考えてみたい。

まず第一の要因として挙げられることは、外国語学習における「文化」をどのように定義付けるかということである。「文化」とは何なのか、つまりどういった「文化」を教えるべきかということが問題になるのである。日常文化 (いわゆる small C) を重視するのか、あるいは伝統文化(big C)に目を向けるのか? または、subjective culture (ある文化を共有するものたちが持つ価値観・社会観・考え方・物事の見方など)か objective culture (「日本語学習スタンダード」の中の目標2にある文化的所産・産物など)か? また、

「文化」というものに対する見方も考慮しなくてはならないだろう。従来のような固定的・規範的・単一的な文化の見方か、あるいは久保田(2008)の提唱するように、次の4Dの概念を言語教育に取り入れるべきか？ 4Dとは記述的(descriptive)、多様性(diversity)、流動的(dynamic)、言説的(discursive)の頭文字を表している。

1. 文化を規範的にではなく記述的(descriptive)に理解する。
2. 文化内の多様性(diversity)に注目し、ディアスポラや雑種性などの概念を取り入れる。
3. 流動的(dynamic)な文化の性質を捉えることによって文化的慣習、産物、思考を歴史的な脈に置いて解釈する。
4. 文化は言説的(discursive)に構築されていることを認識する。

異文化間理解教育導入の難しさの要因は、一般教養の文化のクラスが存在にもあるだろう。例えばイリノイ大学などのように「日本文化」というクラスが既に存在する大学では、わざわざ異文化間理解教育を言語のクラスでする必要はないのではないかといった見方もあるかもしれない。更に、どんなに異文化間理解教育を入れようにも時間がない、スケジュールに入らない。また、教師の方が文化に対する十分な知識がないのではないか、もし学習者が異文化に対して否定的な態度を取った時どのような対処をすべきか分からないなどといった、教師側の「恐れ」といったものもあるのかもしれない(Omaggio 2001)。

このような問題点を踏まえた上で始めたプロジェクトが「カルチャー・フォーラム」である。本稿では、イリノイ大学初級日本語コースで一年間実施したこのフォーラムの手順や効果について、具体例・学習者からの評価・感想・要望などをともに報告する。

## 2. カルチャー・フォーラム

### 2.1 カルチャー・フォーラムとは？

カルチャー・フォーラムの目的は、コミュニケーション能力に不可欠な文化に関する様々な概念を

把握し、異文化間理解を深めることにある。ここで言う「文化」とは、前のセクションで紹介した「日本語学習スタンダード」にもあるように、「ある社会における価値観・信念・認識・考え方などが表れているその社会の習慣・慣習、文化的所産・産物」と定義しておく。

カルチャー・フォーラムのタスクは一学期に三回与えられる。学習者はそれらのタスクに応じた情報を集め、カルチャー・フォーラムに書き込み、またクラスメートの書き込みにもコメント・質問などをすることになっている。フォーラムへの参加は必修で、成績はコース全体の成績の10%を占め、表1にあるように学習者の書き込みの内容・タスクの完成度・フォーラムへの積極的参加などによって採点される。

表1：カルチャー・フォーラム評価基準

<b>Grading Scale for your posts:</b> As in a classroom situation, your grade on the discussion board is based not only on how much you participate but also on the intellectual quality, showing maturity, clarity, and good organization, support of arguments and discussion with adequate examples.	
10:	More than minimum posts in both quality and quantity Your posts are accurate, original and relevant, and teach us something new, and are well written. The posts add substantial learning presence to the course and stimulate additional thought about the issue under discussion.
9:	More than minimum posts in both quality and quantity Your posts lack at least one of the above qualities, but are above average in quality.
8:	The minimum posts in both quality and quantity Your posts present little or no new information, but make some contribution to our understanding of the issue under discussion.
7:	Not apparent that an appropriate level of effort was put into the assignment.
0:	No posts or late posts; your posts add no value to the discussion.

### 2.2 カルチャー・フォーラムの利点

フォーラムの利点として挙げられることは、まずは何といても「学習者中心」だということである。学習者自らが興味・関心のあることについて情報を収集し、書き込み、教師と学習者、学習者同士が互いに学び合うことが出来る場である。ま

た、日本文化と自己の文化の比較を通して、言語使用と文化の密接性についての理解や異文化間理解力を深めることが出来る。しかも、固定的・規範的・単一的に文化を見るのではなく、久保田(2008)の提唱する文化の多様性・流動性を記述的に理解することを目標にしている。

そして何よりも重要な点は、学習者中心なので、教師の「燃え尽き症候群」の防止になるということである。カルチャー・フォーラムは、教室内で行うものではなく、学習者が教室外で行うものなので、現存のコース・スケジュールを大幅に変更することはなく、また教師側が講義内容やアクティビティなどを考えたり、学習者に見せるためのビデオクリップを探したりする必要もない。教師の役割はあくまでまとめ役・補助役であって、主役は学習者、教師は脇役以下といっても過言ではないだろう。

### 2. 3 具体例

カルチャー・フォーラムのタスクは全てシュルツ(2007)をもとにしている(資料1)。例として、秋学期初級日本語(JAPN201)の二番目のタスクについて話してみよう。このタスクの目的は、年齢・性別・社会的階級・宗教、人種、居住区などといった社会言語学的要素がコミュニケーションにどのように影響するかを探求することにある。学習者にはまず、自らの母国語使用、年齢、性別による言語使用の違い、標準語と方言などについて書き込んでもらい、その後、次の一週間で最低二つは他のクラスメートの書き込みに対してコメントをしてもらった。

#### Task 2

1. Describe and comment on some examples of observed differences in your native language use by younger and older persons, male or female speakers, "standard" or regional dialects. Do your own research, and write up your response as a post by 5:00 pm, Oct. 23 (Fri), 2009.
2. Post at least two comments/questions (the more the better) on your classmates' responses by 5:00 pm, Oct. 30 (Fri), 2009.

上記で述べたように、秋学期は締め切りを二つに分けて行ったが、春学期は「締め切りが二つあると混乱するので一つの方がいい」という学習者からの要望に答えて一つにしてみた。更に春学期は、他のクラスメートへのコメント数を二つから「最低五つ」に増やした(資料1)。

カルチャー・フォーラムはイリノイ大学の Moodle Course Site にあり、初級日本語コース登録者は全員自動的にアクセス出来るようになっている。Moodle は無料のオンライン教育管理システムで、フォーラムだけでなく、アンケート、小テストなど様々な機能を備え、日本語を含む多くの言語に適応し、音声ファイルなどのアップロードも簡単に出来る。図1(稿末)にあるように、カルチャー・フォーラムはタスクごと・セクションごとに分かれており、教師・学習者同士が意見を交換したりして相互関係を築く「学びの場」となっている。

図2(稿末)ではあるセクションの学習者によるタスク2へのコメント状況が見える。年齢、性別による言語使用の違い、標準語と方言などについて自らの母国語使用を考えるというタスクに対して、「マレーシア語と日本語の比較」「韓国語の方言使用」「社会的状況の中でのタイ語使用」などといった様々なトピックが挙げられているのが分かる。この中で一番コメント数の多かったのが、中国語におけるインターネット用語、北京語と広東語の比較であった。他にもシカゴとシャンペーンではイリノイ大学の略語である U of I に定冠詞の the が付くか付かないかというように、同じ州内でも言語使用の違いがあるといった例なども取り上げられ、活発な意見交換が行われた。

### 3. 考察

このセクションでは、一年間カルチャー・フォーラムを体験してみて気付いた点、学習者からの評価・感想・要望などについてまとめる。

### 3. 1 コメント数の多かったトピック

一番人気があり、かつコメント数も多かったトピックは、何と云ってもゲーム・漫画・アニメといったポップ・カルチャー的なものであった。また、他にもケータイ、ロボットなどのテクノロジー関係、日本と自国での自動販売機の違い、お風呂・銭湯・温泉などといったトピックにも幅広い人気があった。上記の秋学期のタスク2に対する書き込みの中では、広東語と北京語の違いが一番コメント数が多く、どのクラスでも取り上げられるくらいであった。また、同じタスク2への書き込みで、男言葉と女言葉についても多数のコメントが見られた。その他人気のあったトピックとして、数の数え方の違い（アジア人は片手を使って数えるが、欧米では両手を使うなど）や人と話すとき相手の目を見て話すかどうかなどといった、言語使用以外の点についても活発に話し合われていた。面白いことに、一年間を通して一番コメント数の多かった話題は、英語のことわざ *Get up on the wrong side of bed* に関するもので、合計 27 のコメント数に及んだ。言語・文化は違えど、似たような表現がどの国にも存在するものだと皆関心深い様子だった。

### 3. 2 学習者のフォーラムへの評価・感想・要望

各学期末に学習者全員にカルチャーフォーラムでの体験について評価してもらった（資料 2）。秋学期は初級日本語 I（JAPN201）の学習者 75 人に、春は初級日本語 II（JAPN202）の 77 人に聞いた。

まず最初に次の六つの質問に答えてもらった。

- (1) フォーラムは有益だった。
- (2) 期待通りだった。
- (3) 外国語・日本語学習に役立った。
- (4) クラスメートのことを知るいい機会になった。
- (5) カルチャー・フォーラムでの経験が異文化間理解力と日本語でのコ

ミュニケーション能力養成に役立った

- (6) フォーラムで使った Moodle Course Site は使いやすかった。

この六つの質問には 5 から 1 までのスケールで、5 が大賛成で 1 が大反対という形で答えてもらった。

- 5: Strongly agree
- 4: Agree
- 3: Neither agree nor disagree
- 2: Disagree
- 1: Strongly disagree

表 2 がその結果である。

表 2: 学習者のカルチャー・フォーラムへの評価

	秋学期 日本語 201	春学期 日本語 202
(1) フォーラムは有益だった。	4.07	4.10
(2) 期待通りだった。	3.99	4.06
(3) 外国語・日本語学習に役立った。	3.68	3.86
(4) クラスメートのことを知るいい機会になった。	3.75	4.06
(5) カルチャー・フォーラムでの経験が異文化間理解力と日本語でのコミュニケーション能力養成に役立った	4.15	4.17
(6) Moodle Course Site は使いやすかった。	4.29	4.29

表 2 から分かるように、全体的にはフォーラムでの体験は肯定的だと言える。また、一学期目の秋よりも二学期目の春の方が、評価点がやや高くなっていることから学習者のフォーラムへの関心度が少しずつではあるが上昇していることが分かる。

次にフォーラム書き込みの「締め切り」についても聞いてみた。秋は、フォーラムへの書き込みの締め切りを二回とし、一回目は学習者自身の答えを書き込み、二回目はクラスメートの書き込みにコメントや質問をするという形式だったが、春は、締め切りは一回限りで、学習者自身の答えだ

けでなく、クラスメートのコメントもその日までにするという形式で行ってみた。秋のように「締め切りは二回の方がいい」と答えた学習者は、77人中48人(62%)、「一回だけがいい」と答えた学習者は、77人中22人(29%)、「どちらでもよい」が4人(5%)、答えなかった学習者が3人(4%)で、大半は「締め切り二回」を希望していることが分かった。締め切りが二回あればいいとする理由には、「クラスの皆が全部書き終わった後、コメント出来るから」「話し合う時間がたくさん出来るから」といったものがあった。それに対して締め切り一回派の理由として、「締め切りが一回だと覚えやすい」「混乱しない」などであった。

次に、カルチャー・フォーラムで一番良かった点について聞いてみた。一番多かったコメントは異文化学習への賞賛で、「異文化について学べてよかった」、「日本のことだけではなく他の国の文化も知るいい機会だった」「自分の文化を分かってもらえるいいチャンスだった」「文化間の違いを学ぶことが出来た」などであった。またフォーラムでのクラスメートとのインターアクションも高く評価され、「クラスメートと情報・意見などが共有できて良かった」「クラス外でもコミュニケーションが出来てよかった」などと答えた学習者も多かった。また、「クラスメートと仲良くなった」「クラスメートのファーストネームが分かってよかった」などと答えた学習者もいた。その他にも、フォーラム(Moodle Course Site)の使いやすさ、多数・多種類の話題、自由に書ける楽しさ、プレッシャーを感じないで意見交換・共有が出来てよかったなどという意見もあった。

その反面、ごく少数ではあるが、否定的な意見もあった。「言語習得にあまり関係がなかった」「何も習わなかった気がする」と答えた学習者がいた。否定的な意見の割合は、秋学期は75人中3人、春学期は77人中3人と少数派ではあったが、こういった学習者への対処は今後の課題として見

過ごせないことである。

更に、今後の改良点として学習者からの要望を募ってみた。「異文化だけでなくもっと日本の文化について学びたい」「(学習者が選ぶ)トピックが重複しがちである」「ポスティングの後、クラスでもディスカッションをしたほうがいいと思う」「ビデオとか写真が載せられたらいいと思う」「カルチャーフォーラムの評価の比率を10%よりもっと高くして欲しい」などといったものから、Moodleの設定問題として、学習者が書き込みをしている時の修正できる時間をもっと長くして欲しいという要望もあった。

#### 4. まとめ

この一年間振り返ってみてまず言えることは、教師・学習者共々楽しみながら、コミュニケーション能力に不可欠な文化に関する様々な概念について積極的に意見交換をし、互いに学び合いながら異文化間理解を深めることが出来たということである。この「楽しみながら」というのは、やはりフォーラムが「学習者中心」で、学習者が自主性を持って挑むことが出来たからだと言える。また、そうすることによって、従来の固定的・規範的・単一的な文化の見方ではなく、多様性・流動性のある文化を記述的に説明することが出来たからこそ実現できたことなのかもしれない。更に教師の立場から言うと、時間の制限上、教室ではなかなか紹介できないようなことをフォーラムで話し合うことが出来たという点からも、カルチャー・フォーラムという「共有の場」の有効性を見出せたのではないだろうか。

その反面、学習者からの要望にもあったように、より多くの、より様々なトピックを学習者から引き出せるようなタスクや質問が必要なのではないかとつくづく感じた。また各タスクの後、総括ミーティングのようなものも必要であろう。更に学習者のフォーラムへの評価・要望などから、教師のフォーラムに対する態度が学習者の積極的参加

に多大な影響を及ぼすことが分かった。主役はあくまで学習者で、教師は脇役以下とは言え、いかにまとめ役としての教師の役割が重要かということ強く感じさせられた。

これらのことを考慮しつつ、最後に今後の課題をいくつか挙げておきたい。まず最初に、カルチャー・フォーラムが学習者の異文化間理解力養成に本当に役立っているかどうかを見る必要がある。そのために、イリノイ大学では、2010年と2011年の秋、二年連続で Intercultural Development Inventory (Hammer 2007; Hammer, Bennett and Wiseman 2003) を使って学習者の異文化間理解力を測定することにした。秋学期の始めに事前テストをし、学期末に事後テストをして学習者の異文化間理解力に違いがあるかどうか見てみようと思う。また、カルチャー・フォーラムで養った異文化間理解力と学習者の日本語能力・語用力にどれだけ影響するのかも見てみる価値があるだろう。

教師側のフォーラムに対する態度とその影響についても調査する必要がある。上でも述べたように、教師側のカルチャー・フォーラムに対する態度が学習者の積極的参加に影響を及ぼすようなので、学期が始まる前に、教師にもより効果的なオリエンテーション（例えば、コメントの仕方・注意事項などについて）などの考慮が考えられる。そのためには、教師の方の異文化間理解教育・カルチャー・フォーラムなどに対する意識を理解し、教師のニーズなどについても考える必要がある。

カルチャー・フォーラムは教室学習を越えたレベルでの学習環境の形成、教師と学習者との共同作業の場と解してよい。今後もいっそう外国語学習における異文化間理解教育の推進に貢献していきたいと思う。

## 参考文献

外国語学習ナショナル・スタンダードプロジェクト (1999) 『21世紀の外国語学習スタンダード「日本語学習スタンダード」』国際交流基

金日本語国際センター

久保田竜子 (2008) 「日本文化を批判的に教える」佐藤慎司・ドーア根里子 (編著) 『文化、ことば、教育：日本/日本語の教育の標準を超えて』明石書店

Allen, W. W. (1985). Toward cultural proficiency. In A. C. Omaggio (Ed.), *Proficiency, curriculum, articulation: The ties that bind* (pp. 137-166). Middlebury, VT: Northeast Conference on the Teaching of Foreign Languages.

Bennett, J., Bennett, M., & Allen, W. (1999). Developing intercultural competence in the language classroom. In R. M. Paige, D. L. Lange, & Y.A. Yershova (Eds.), *Culture as the core: Integrating culture into the language curriculum* (pp. 13-46). Minneapolis: University of Minnesota Press.

Durocher, D. O. Jr. (2007). Teaching sensitivity to cultural difference in the first-year foreign language classroom. *Foreign Language Annals*, 40, 143-160.

Galloway, V. B. (1985). Communicating in a cultural context. Workshop given at the Northeast Conference Winter Workshop, Wakefield, MA.

Hammer, M. R. (2007). *The Intercultural Development Inventory manual* (v.3). Ocean Pines, MD; IDI, LLC.

Hammer, M. R., Bennett, M. J. & Wiseman, R. (2003). A measure of intercultural sensitivity: The Intercultural Inventory. In M. Paige (Guest Editor), *International Journal of Intercultural Relations*, 27, 421-443.

Lafayette, R. & Strasheim, L. 1981. Foreign language curricula and materials for the twenty-first century. In *Proceeding of the National Conference on Professional Priorities*. Hastings-on-Hudson, NY: ACTFL.

Omaggio, Hadley, A. (2001). *Teaching language in*

*contest*, 3<sup>rd</sup> ed. Boston: Heinle & Heinle.

Schulz, R. A. (2007). The challenge of assessing cultural understanding in the context of foreign language instruction. *Foreign Language Annals*, 40, 9-26.

Strasheim, L. (1981). Establishing a professional agenda for integrating culture into K-12 foreign languages: An editorial. *The Modern Language Journal*, 45, 350-354.

## 資料

図 1 : 2009 年秋学期日本語 201 のカルチャー・フォーラム

The screenshot shows a forum interface for 'JAPN201 (Elementary Japanese I) -- Misumi Sadler'. The main content area is titled 'Topic outline' and lists the following topics:

- Welcome to the JAPN 201 Culture-Learning Forum
- General Guidelines
- Task 1 (201-A1, Lenz)
- Task 1 (201-A2, Onosaka)
- Task 1 (201-B, Young)
- Task 1 (201-C, Klassen)
- Task 1 (201-D, Sadler)
- Task 1 (201-X, Kim)
- Task 1 (201-F, Feng)

Below the topic outline, there are three numbered sections:

- Task 2 (Lenz)
  - Task 2 (Onosaka)
  - Task 2 (Young)
  - Task 2 (Klassen)
  - Task 2 (Sadler)
  - Task 2 (Kim)
  - Task 2 (Feng)
- Japanese Cafe
- Task 3 (Lenz)
  - Task 3 (Onosaka)

The right sidebar contains 'Latest News' (No news has been posted yet), 'Upcoming Events' (There are no upcoming events), and 'Recent Activity' (Activity since Friday, 14 May 2010, 11:27 AM).

図 2 : 学習者が選んだトピックの例 (タスク 2)

Discussion	Started by	Replies
<a href="#">Languages in Malaysia vs Japanese Language</a>		4
<a href="#">Chinese Internet Slang</a>		13
<a href="#">Korean Language</a>		5
<a href="#">Wanna learn Chinese or just Mandarin?</a>		2
<a href="#">Korean dialects throughout Korean peninsula and beyond</a>		4
<a href="#">Mandarin vs. Cantonese</a>		13
<a href="#">Taiwanese - An Mixture of History and Politics</a>		3
<a href="#">Domestic and Social Etiquette Culture in Korea</a>		4
<a href="#">Social Contexts in Thai Language</a>		2
<a href="#">The Chicago Dialect and "the" UofI</a>		11
<a href="#">African American Vernacular English vs. Standard English</a>		4
<a href="#">Gender and Distance in Thai Language</a>		6
<a href="#">The Chinese Language</a>		7
<a href="#">Hong Kong Cantonese</a>		4
<a href="#">Chinese language</a>		6
<a href="#">Politeness in English</a>		6
<a href="#">Korean</a>		3
<a href="#">The Australian Idiom</a>		3
<a href="#">Regional Chinese</a>		2

## 資料1 (カルチャー・フォーラム全タスク)

**1) General explanation about the forum**

The culture-learning discussion forum introduces you to a variety of issues concerning ‘culture’, which is fundamental to developing your communicative competence. ‘Culture’ in the context of the foreign language curriculum refers to the system by which natives of a given society interact and interrelate, including culture-specific products (e.g., books, music, food) and culture-specific practices (e.g., patterns of social interactions), which are reflective of culture-specific attitudes, values, and beliefs of the society from which they come. The culture-learning discussion board also aims to help you develop positive attitudes toward other cultures and the ability to communicate effectively in a culturally appropriate manner with people in the target language.

During the course of this semester, you will be asked to post your comments/questions, demonstrating the extent of your growing awareness about the phenomenon of ‘culture’ and obstacles to intercultural understanding, as well as about cultural differences and similarities between your own culture(s) and Japanese culture which may give rise to potential cultural misunderstandings. Read and think about the assigned tasks. Do your own research, familiarizing yourself with the tasks to be performed and keeping those in mind as you encounter possible helpful data in throughout the course as well as outside sources through the media or interaction with other individuals. Then write up your responses as a post. Posts are not papers; they must be, however, well-organized and well thought-out responses to the assigned tasks. Please be sure to document all sources you use in your responses, such as course material, Web sites, encyclopedias, literary or journalistic texts, travel reports, quotes from people interviewed, etc. You may use Japanese and/or English.

**2) General Guidelines**

\*Be respectful of others and have good manners. If you wish to discuss a potentially sensitive issue, handle it with tact. Flaming, trolling, or harassment will not be tolerated.

\*Stay on topic.

Academic Honesty: All work you submit must be your own and must not be done with your classmates. Work not your own will be given a failing grade and may result in a failing grade for the course. See the *Student Code*: Part 4 Academic Integrity (<http://www.admin.uiuc.edu/policy/code/index.html>) for specific information regarding the university policy. Outside resources used for your portfolio must be properly documented, including both in-text citation and references.

**3-a) Tasks for Fall 2009 (JAPN201)****Task 1**

The objective of your first task is to develop awareness that geographic, historical, economic, social/religious, and political factors can have an impact on cultural perspectives, products, and practices, including language use and styles of communication.

Task 1 has two phases:

1. Using two products (i.e. one product from Japan and one product from your home country), such as musical compositions, items of clothing, popular foods, architectural monuments, literary selections, etc., in your home and Japanese cultures, conjecture about the reason(s) for the “products” popularity (or lack thereof), given geographic, demographic, historical, or other contextual factors. Write up your response as a post by 5:00 pm, Sept. 11 (Fri), 2009.
2. Post at least two comments/questions (the more the better) on your classmates’ responses by 5:00 pm, Sept. 18 (Fri), 2009.

**Task 2**

The objective of your next task, Task 2, is to develop and demonstrate awareness that situational variables (e.g., context and role expectations, including power differentials, and social variables such as age, gender, social class, religion, ethnicity, and place of residence) shape communicative interaction (verbal, nonverbal, and paralinguistic) and behavior in important ways.

Task 2 has two phases:

1. Describe and comment on some examples of observed differences in your native language use by younger and older persons, male or female speakers, “standard” or regional dialects. Do your own research, and write up your response as a post by 5:00 pm, Oct. 23 (Fri), 2009.
2. Post at least two comments/questions (the more the better) on your classmates’ responses by 5:00 pm, Oct. 30 (Fri), 2009.

**Task 3**

The goal of your next task, Task 3, is to develop and demonstrate awareness that situational variables (e.g., context and role expectations, including power differentials, and social variables such as age, gender, social class, religion, ethnicity, and place of residence) shape communicative interaction (verbal, nonverbal, and paralinguistic) and behavior in important ways.

Task 3 has two phases:

1. Describe and comment on *two* behaviors (e.g., greetings, apologies, compliments, manners, nonverbal behaviors such as eye contact, head movement, and gestures, etc.) that illustrate similarities and/or differences in contextual expectations in your home culture and in Japanese culture.
2. Post at least *two* comments/questions (the more the better) on your classmates' responses.

Deadline: 5:00 pm, Dec. 4 (Fri), 2009

**3-b) Tasks for Spring 2010 (JAPN202)****Task 1**

The goal of your first task is to recognize stereotypes or generalizations about the home and target cultures and use significant evidence to substantiate your evaluation of these stereotypes.

1. Give at least one example of stereotypes many Japanese hold about your home country people and society. What Japanese cultural perspectives or what evidence may have given rise to this stereotype?
2. Give at least one example of stereotypes many of your home country people hold about Japanese people and society. What perspectives or what evidence from your culture may have given rise to this stereotype?
3. Write up your response as a post, AND post at least THREE comments on your classmates' responses by 5pm, Feb. 12 (Fri), 2010.

**Task 2**

The goal of TASK 2 is to develop and demonstrate an awareness that each language and culture has culture-conditioned images and culture-specific connotations of some words, phrases, proverbs, some idiomatic formulations, gestures, symbols, etc.

1. List and explains TWO examples of culture-specific connotations in words, phrases, idioms, proverbs, etc. you have encountered in Japanese, English, or your native language(s).
2. Write up your responses as a post, and post at least FIVE comments on your classmates' responses by 5pm, March 12 (Friday), 2010.

**Task 3**

The goal of your third task is to develop and demonstrate an awareness of some types of causes (linguistic and nonlinguistic) of cultural misunderstanding between members of different cultures.

1. Using newspaper articles, advertisements, Web sites, or other data sources, compare how an event, product, or practice of the home culture is viewed in the target culture and attempt to explain the reasons for the views.
2. Write up your responses as a post, and post at least FIVE comments on your classmates' responses by 5pm, April 16 (Fri), 2010.

## 資料2 (カルチャー・フォーラム評価用紙)

*The culture-learning discussion forum has introduced you to a variety of issues concerning 'culture', which is fundamental to developing your communicative competence. Over the course of this semester, you posted your comments/questions, demonstrated the extent of your growing awareness about the phenomenon of 'culture' and obstacles to intercultural understanding, as well as about cultural differences and similarities between your own culture(s) and Japanese culture(s) which may give rise to potential cultural misunderstandings.*

*Please help us to improve future discussions on the forum by filling out this evaluation form. Please submit this form to your instructor.*

1. Using the scale below, please rate the following items related to your experience on the discussion boards.

	Strongly agree	Agree	Neither agree nor disagree	Disagree	Strongly disagree
(1) The discussion forum was informative and useful.					
(2) The discussion forum met my expectations.					
(3) The discussion forum addressed important issues in my study of Japanese or any other foreign languages.					
(4) The discussion forum provided me with opportunities to get to know my classmates.					
(5) The discussion forum helped me develop positive attitudes toward other cultures and the ability to communicate effectively in a culturally appropriate manner with people in the target language.					
(6) The discussion forum was easy to use.					

2. What was the best part of the discussion boards?

3. What change(s) would you make to future discussion boards?

4. Which format did you like better: (i) having one deadline to post your response and comments/questions to your classmates' posts (JAPN 202 format) or (ii) having two separate deadlines—one for posting your response, and the other for posting your comments/questions to your classmates' posts (JAPN 201 format).

5. Any other comments?

Thank you for taking the time to complete this form. We greatly appreciate your feedback!